



酉年はどんな年？



今年、「酉年」です。1月の全校朝会では、今年の干支「酉年はどんな年とされているか」について話をしました。

昨年は申年でした。お正月のテレビ番組で、申年は、「株価が下がる」「芸能では不倫の話題が多い」年と言われていましたが、1年経って振り返ると、確かに株価は、お正月から6日連続下がってニュースで「アベノミクスの限界か」と言われていましたし、芸能ニュースに関しては皆さんの記憶にも新しいことでしょう。

昔の生活と干支は切り離せないものでした。時刻から方角、季節まで全部干支を当てはめていました。「酉」は、時刻としては、午後5時～7時、方角では西、季節では秋を表しています。また、酉はニワトリのことですが、ニワトリは夜明けを知らせる鳥でもあります。このことから、中国でも日本でも「新たな時代を開く吉祥のシンボル」として縁起がよいとされてきました。酉年はなにか新しく物事を始め、挑戦するにはグッドタイミングとされています。また、酉が秋を示すことから「まいてきたものが実り、刈り取る時期」「いままでの努力が報われる時期」ということにもつながっていきます。酉年は商売繁盛にして収穫の季節なのです。

さて、西小林小には1月に5名もの転入生がありました。しかも、人数の少ない女の子ばかりです。さっそく酉年の恩恵があった訳です。平成29年度の6年生と私、校長は酉年です。きっと西小林小の飛躍の年となるでしょうし、そうなるようにがんばらなければ、と思っています。今年も、西小林小の子供たちの活躍を楽しみにしていきましょう。

## 駅伝で代表としてがんばりました！



1月9日に行われた第7回宮崎県市町村対抗駅伝競走大会で本校の6年生川添陽貴君と徳丸莉桜さんが小林市の代表として見事に走りきりました。

代表のユニフォーム姿で宮崎市の大通りを懸命に走る姿はとてまにかっこよかったですよ。

1月22日には、第66回こばやし駅伝競走大会があり、西小林地区の代表として6年生の大迫凌空(りく)君、重信和宏君、徳丸莉桜さんが走りました。14チーム出場した中で、凌空君は区間2位、重信君5位、莉桜さん6位と、大健闘しました。誰もが出場できるわけではないので、4人とも得難い経験ができたのではないかと思います。一生思い出に残ることでしょう。応援してくださった皆様、ありがとうございました。



## 転校生を紹介します。

1月6日に5名の転校生がありました。一度に5名も増えて、みんな大喜びです。これからよろしく願います。

- 2年 宮原 優輝(ゆき)さん 【小林小】
  - 沢田 寿望(ことの)さん 【宮崎東小】
  - 3年 大園 美羽(みう)さん 【三重県より】
  - 4年 沢田 寿那(じゅな)さん 【宮崎東小】
  - 5年 宮原 早輝(さき)さん 【小林小】
- 全校児童166名になりました。



- 1日(水) 全校朝会  
          社会科見学(3年:史跡見学)
- 3日(金) 新1年生保護者説明会
- 7日(火) クラブ活動(45分)
- 8日(水) 縄跳び発表(全学年)
- 9日(木) 幸ヶ丘小との交流(3・4年)  
          西小林中学校区連絡協議会
- 10日(金) 清掃班会
- 14日(火) 委員会活動
- 15日(水) 読み聞かせ・教育相談
- 17日(金) 薬物乱用防止教室(5・6年生)

- 20日(月) ALT訪問
- 21日(火) 国語・算数コンテスト  
          立志のつどい準備
- 22日(水) 立志のつどい(5・6年)  
          学校参観日
- 23日(木) 低学年読書の時間



## 今年もりっぱな門松ができました。



昨年の12月23日に、PTAによる門松づくりが行われました。正門、西門、北門にそれぞれ1対ずつ計6個のりっぱな門松です。

今年は、それに加えミニ門松づくりも行いました。思ったより簡単で、子供たちがそれぞれ工夫しながら飾り付けていました。きっとよいお正月が迎えられたことでしょう。西小林小にも、え、門松がよい目印となって、きっとたくさんの年神様が来られたことと思います。幸多き1年になりますように。

## もし、税金がなかったら？



1月13日に、6年生で「租税教室」がありました。県税事務所から2名の方が来られ、「もし、税金がなかったとしたら、私たちの生活はどうなるのか」

「税金は何に使われているのか」など、DVDやイラスト等の資料を使って分かりやすく説明してくださいました。もし、税金を誰も納めなくなったら、道路や橋などが作られない、修理がされない、警察官もいなくなる、救急車も来ない、あるいはお金を払わないといけないうこと、そして、小学生一人に90万円の税金が使われていることなど学びました。6年生は、社会科で今学習しているところですので、初めて学ぶことばかりで大変勉強になったようです。税金を納めることは、世界中どの国に行っても国民の義務ですね。最近、理由もないのに税金を滞納したり、平気で脱税したりする人が増加傾向にあるそうです。小学生のうちからきちんと学ぶことの大切さを感じました。

## 6年生の親子給食、中学校説明会



24日(火)は、中学校説明会でした。その前に、教室で親子で給食を食べました。西小林小では、1年生の入学時と、6年生の卒業時に親子給食がありま

す。それぞれ、目的は違うのですが、いよいよ卒業が目の前に迫った成長した我が子との食事は、親にとっては感慨深いものがあるのではないかと、思います。1年生ではとても賑やかですし、親子で座っても教室はずいぶんゆとりがあります。6年生は、間を通ることもできないくらいぎっしりと座っていましたが、とても静かでした。きっと気恥ずかしさもあって、言葉も少なかったのでしょう。ちなみにこの日の献立は、「十二穀ごはん、チキン南蛮、大根の味噌汁、牛乳」でした。

中学校説明会では、授業を参観したり、中学校生活の説明を受けたりしました。子供たちが何より楽しみにしているのは、やはり部活でしょう。ビデオによる各部活の活動の様子と中学生による説明を聞いて、各部活のことがよく分かりました。先生方による説明も、要点を押さえた分かりやすい説明で、事前に6年生にアンケートをとっていたということもあり、子供たちの疑問に全て答えていただきました。西小林地区は、3校でとても連携がとれています。小中一貫教育が無理なく行われていますので、子供たちも不安が少ないのではないかと、思います。残り、2ヶ月になりましたが、小学校では中学校での基礎となることを、しっかり身に付けさせて入学させたいと思います。

校長先生から「脱脂粉乳」のことや、「くじらのオーロラ煮」という昔の給食のことについても聞いたよ。



## 給食感謝集会



26日に、保健・給食委員会による「給食感謝集会」がありました。2学期から、行事は担当の委員会がプロジェクトを立ち上げて、自分たちで企画から実施までを行っています。今日は、保健・給食委員会でした。内容は、「給食の歴史」と「食料をどのくらい日本の国の食材で作れるのか」ということについて、クイズ形式で進めていきました。給食は始まって127年経つそ

うです。最初は山形県の学校で、この学校を建てたお坊さんが、貧しくてお弁当を持って来られない子供のために始めたそうです。それから、自給率はなんと39%しかないそうで、天ぷらそばの海老などは、たった5%だそうです。発表の中でも、自給率のあまりの低さに、「戦争があったときには食べ物なくなる」「農業生産者の高齢化がすすんでいる」等の問題点が出され、自分たちが大人になったときに、もっと生産量を増やすことが大事だということでもとめられていました。聞いていた全校の子供たちも楽しみながら、大事なことが学べて大変よかったと思います。プロジェクトチームは、2月は6年生が「立志式」で、3月には5年生が「卒業式」で活動します。どんなアイデアが出るか楽しみです。